

被災地からの転入生がいる学校の

先生・保護者の方へ

被災した子ども達は周囲の環境が変わり、緊張した日々を過ごしていると思います。

同世代の子どもとの遊びを通じて元気になることもあります。

しかし自分からかかわることは、なかなか難しいと思います。

被災して転居してきたご家族と、同世代のお子さんを持つご家族との近所づきあいを通して、被災した子どもが同世代の子どもと出会えることができれば、遊びを通して心のケアができるでしょう。

外に出たくない、人とかかわりたくないと思っている子に対して、無理に外に出るよう、人とかかわるように言う必要はありません。

でも、誰かに話を聞いてもらいたいと思っているならば、周囲からのかかわりで、ほんの少し背中を押されて、人とかかわれるようになる場合もあります。

自分にどのような手助けができるのかを伝えてください。

それは近くの公園に一緒に遊びに行くといったことから、スクールカウンセラーの制度を紹介するといった専門的な手助けまで、いろいろなことが考えられます。

最後に

直接被災していなくても、テレビの報道をみたり、話を聞いたりして普段とは違った心の状態になっているかもしれません。

普段より落ち着きがなく、浮ついているように見えることもあります。

周囲の大人が子どもを見守って、安心できるような環境を作っていけたら回復も早いのではないかと思います。